

— 野鳥も人間も、地球の仲間 —

お話を伺った方 中村さん



Q

普段はどんな活動をされていますか？

A

主に小学校4, 5, 6年生の自然体験学習などの分野を担っています。具体的には、川・野鳥・人の関係やツバメの観察記録づくりなどです。

Q

活動を通じて、子どもたちに知ってもらいたいことは？

A

「地球は人間だけのものではない」と思っています。鳥は一億五千万年ほど前に始祖鳥の記録が残されて以来、野鳥としてこの地球上で命をつないできました。それに比べたら人間の登場など、地球の歴史上ではうんと後になってからです。

だから、この地球はもともと、人間だけのものではありませんよね。農作物に被害を及ぼすこともあると思います。だからといってすぐ「捕殺」といった発想ではなく、地球の仲間どうしの問題として考えてほしいのです。



Q

子どもたちを見ていて感じることは？

A

子どもたちはみんなフィールドに出たら元気で、目がいきいきしています。大人って自分たちのことに忙しくて、なかなか余裕がありません。だからこそ、子どものうちに「生き物といっしょに生きることの大切さ」を実感してほしいです。子どもがまわりの大人に伝えていくことで、周囲の大人がかわることもあります。そういう意味で、子どもたちに期待しています。